

地域活性化という「遊び」

13

京都市
福知山市 「みわ・ダッシュ村」から

山本晋也

筆者プロフィール

1968年、京都生まれ。美術大学を卒業して渡米後、京都で現代美術作家として活動。そのかたわらオーガニックレストランを経営するも食材を種から作ってみたいとなり、京都市内で畑を始める。結婚して3人の子供を授かったころ、農業生産法人みわ・ダッシュ村の清水三雄と出会い、福知山市の限界集落に移住。廃屋を修繕しながら家族で自給自足を目指す。土と向き合ううち田畑と山や川、個人とコミュニティーの関係やその重要性に気がつき、田舎も都会もすべて含めた「大きな意味での自給」を強く意識するようになる。この考え方は、美術家時代にドイツの現代美術家ヨゼフボイスのすべての人が参加して創り上げる社会彫刻という概念に影響を受けた。現在みわ・ダッシュ村副村長。

考える力がつけば
未来は必ず
変えられる

8年でやっと
綺麗になって
きた裏山の畑。
今年こそ復活
できそうです



福知山の駅前
ポイ捨て。本
当の地域活
化が実現す
ればゴミは
減るはず



① 冬のある日、ちょっと調べ物があつたので
雪が残る限界集落を抜けだして福知山の中心部へ向かいました。

車を停めて駅前にある中央図書館へ向かって歩いてみると
この辺りでは見かけない珍しいものが落ちていました。
緑のわっかが印刷された某有名コーヒーチェーンの紙カップ。

「あれっ、なんでこんなところに？」と思いましたが
とりあえず拾ってゴミ箱に入れながら

地元の新聞に載っていた「北近畿初！」という記事と
駐車場がいっぱいだとか行列ができていて買えないとかどうとかいう記事が
フェイスブックに投稿されていたのを思い出しました。

② 福知山って行列ができるほど人がいたんだな（笑）と思うと同時に、街では人がたくさん集まると
それに比例してゴミが増えるという現象がなんだかとても不思議に思えました。

別にコーヒーチェーンができたからゴミが増えて迷惑だとかそういうことを言いたいのではなく
僕らの周りでは人が増えるとゴミが減るのです。

人が増えるということは、土地を利用できる人が増えるということ
今まで手付かずで荒れていた畑や山がその人に利用され本来の姿を取り戻し
年を追うごとに風景が綺麗になっていくというのが通常の流れになります。

年に数度の共同の草刈りや排水溝の掃除なども一人増えただけでとても楽になりますし
そのぶん仕事の質も良くなります。

③ 僕らの家や裏山も8年前に来た当初は建物の中はゴミだらけ。

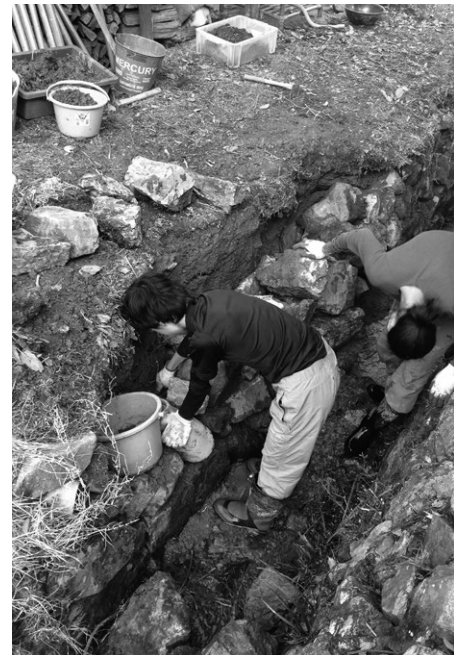
裏山は藪のようになっていて、とても入れるような状態ではなかったけれど
みんなでゴミを処理して草を刈って木や竹を切って、草は畑に木は風呂焚きや暖房に利用。



アイデア重要ですが元気も重要。
子供たちにはいつも
元気をもらっています



チェーンソーを使えるようになった長男、
頼もしくなってきました。
今はキノコ栽培と料理、
トランプマジックに夢中



台風で崩れた石垣。
未経験でしたがみんなで考えながら修復しました

4 **確**かに僕らがたつた6人で山を綺麗にできるんだつたら
100万人も人がいるところだつたらとんでもないことができるはずなのに
どこでどうして間違えてこんなゴミが増えていくのでしょうか。とても勿体ない話です。
人が増えると問題も増えますがアイデアも増えるはずで解決方法はいくらでも見つかりそうですが
実際には人が増えすぎた場合自分が考えなくても
誰かが考えてくれるだろうというようになってしまふのかもしれない。
そうなるってしまったら、田舎だろうが都会だろうがダメですね。
誰かが考えるだろうでは結局誰も考えません。
個性ある美しい街や村、元気のある街や村というのは
例外なくそこに住んでいる人たちの考え方や生き方が風景にはつきり現れていると思います。

5 **今**回のチェーン店の出店で、地方の駅前がみんな同じ顔になって
同じようにゴミが増えていくというのがいったいどういう意味を持つのか、
ということを地元の人はもっと考えるべきでしょう。
考えない人たちが暮らす街や村に明るい未来はないと思います。
僕は子供たちと山や畑を整備するときにはいつも相談をします。
わからないことは子供たちにも調べてもらいます。
大人も子供もわからないことは一緒にやってみてまた考えます。
情報を集め目標を達成することはとても大事ですが
一番大事なのは情報がなくても自分なりに考えてやってみることです。
考える力がつけば
今はダメでも未来は必ず変えられます。

沢から拾い上げた石で崩れた石積み直ししたり、8年前とは見違えるようになりました。
子供も成長し、昨年からは長男がチェーンソーや草刈り機も使えるようになってきたので
実質大人が一人増えたことになり、昨年一年間で裏山の環境は急変。
16歳がたった一人増えただけでこんなにも違うものかとびっくりしました。
その16歳と先日大阪に行った時には、建物の大きさや人の多さには
当たり前のように驚いていました。
歩道や植え込みに何気なく捨てられているゴミの多さにも驚いていました。
しかしそこにあるゴミの数とそこにいる人間の数を比べてよく考えてみると
人とゴミの数にはそう変わりがないように思え
あれだけたくさんの方がいるのなら一人の人が一つずつゴミを拾えば
10秒でゴミはなくなるんじゃないかなと子供たちは話していました。